



苦小牧型小中連携教育研究実践校（苦小牧東中・苦小牧東小・若草小）では、前号の実践の他にも、工夫した新入生体験入学を行っていたり、長期休業中の学習サポートを小・中学校で協力して実施したりする等、小中連携に係る取組を推進しております。各エリアにおいて、次年度の取組の参考にしてください。

苦小牧東中エリア 中学校体験入学

主な体験入学の流れ

11:00～ 4時間目

＜中学1年生と合同の総合的な学習の時間＞

- ・小学6年生が1年生の総合発表会に参加する
- ・小学生は各学級の発表を見学する

12:25～ 給食

- ・中学2年生が盛り付け、配膳を行う

12:55～ 昼休み

- ・小学生の移動範囲は、各学年廊下と図書室

13:15～ 5時間目＜生徒会・児童会主催の集会＞

- ・中学2年生と小学6年生による合同集会

14:15～ 6時間目＜1日の振り返り＞

- ・班で中学校体験入学の振り返り（話し合い）
【テーマ：中学生になるにあたって】

14:45 解散



4時間目



給食



5時間目



6時間目

体験した児童の感想

1年生と2年生が自分たちの想像した以上に面白くてとても優しいし、何より受け答えが上手でとても中学校に行くのが楽しみにになりました。

先生もとても優しく、東小の人とも友達になれたので良かったです。特に最後に班でやったすごろくが楽しかった。

中学校の不安も消え、安心さや楽しみも倍増しました。体験できて良かったです。

いろんなことが知れて良かったです。パワーポイントなどのものが上手で自分もそんなふうになりたいです。

中学生になる前に心が少しなれたので良かったです。ありがとうございました。来年からよろしくお願いします。

夏休み学習サポートにおける小中連携の取組

(1) 小学校学習会への中学生補助員派遣



夏休み最初の2日間、苫小牧東小学校、若草小学校で開かれた学習会に、苫小牧東中学校の生徒各10名が学習の補助として参加しました。その小学校を卒業した中学生の中から希望者を募りました。

小学生にとっては、分からない問題を年齢も近く親しみやすい中学生から教えてもらい、学習意欲の向上にもつながりました。中学生にとっても、どう説明すれば伝わるのかを試行錯誤する良い機会となりました。

(2) 中学校学習会での小学生向け講座

夏休み3日目には、苫小牧東中学校で、来年度、苫小牧東中学校に入学する小学6年生を対象とした小学生向け講座（数学、英語）を開きました。参加した児童は中学校の学習を一足早く体験したことで、中学校での学習のイメージができ、中学生になる自覚が湧いてきたようでした。また、違う小学校同士で隣り合って座り、相談や交流をしながら学習を進められたことで、中学校生活への期待もふくらませていました。



(3) 小学校教員による中学生学び直し講座

(小学校教員による乗り入れ)



夏休み4日目には、苫小牧東小学校、若草小学校の教員が中学校に乗り入れ、数学科に苦手意識を感じている中学1年生を対象とした算数・数学の学び直し講座を開きました。中学1年生の実態から苦手意識の強い分数や小数の四則計算の演習を小学校側に依頼し、小学校教員が教材を用意して講座を開きました。中学生にとって、なじみのある小学校の先生には質問もしやすく、小学校で学んだことをもう一度学び直すよい機会となりました。